

知的・発達障害のある人の支援と犯罪ノート

司法・刑事における適正な手続きの保障と そのための支援

■編著／大石剛一郎

■出版社／Sプランニング（電話03-3766-1636）

■発行日／2010年9月20日 ■税込価格／1260円



11月号にふさわしい書籍が9月に発売されました。弁護士の大石剛一郎さんが温めに温めて出版された本です。著者は初めの段で「『ノート』とでも命名しないと、自分の恥ずかしさを覆いつくせない」と言っています。障害のある人たちの犯罪について社会が、そして私たちが注目をしはじめて10年前後でしょう。現時点での経過報告として、一人の弁護活動をしている著者の意見を読み進めると深く深く考えさせられます。

この本の特徴は、大石さんだけでなく、『手をつなぐ』でも登場する光増昌久さんや朝比奈ミカさんら地域福祉の支援者もレポートを書いているところです。第2章の座談会でこの支援者たちがバシバシと意見をぶつけあうさまは豪快であり勇気づけられます。罪を犯した当事者はさまざまです。そしてその支援方法もまたさまざまです。解決策や答え探しでなく、一人ひとりの支援のあり方について、この本からヒントを得てみてください。

（深井敏行）